

# みやぎ 県議会 だより

平成23年 11月定例会特集

第100号

編集・発行 宮城県議会広報委員会  
TEL022(211)3592  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

ホームページのご案内  
県議会のあらまし、議員名簿、本会議と委員会の日程等、各種(請願・陳情等)手続きの案内、会議録等を掲載しています。  
インターネットで本会議、予算・決算特別委員会の生中継、録画画像をご覧になれます。http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/

## 県民の声届け 復興議論

### 県500戸の建設支援

#### 災害公営住宅

被災市町が平成27年度までに計1万2000戸の整備を計画している災害公営住宅。議員は整備手法や県が整備する戸数を問う、「仮設住宅だけでは2万2000戸が必要だった。入居者の高齢化や社会経済状況、各自自治体の申請戸数などを勘案すると、1万5000戸は必要ではないか」と主張した。

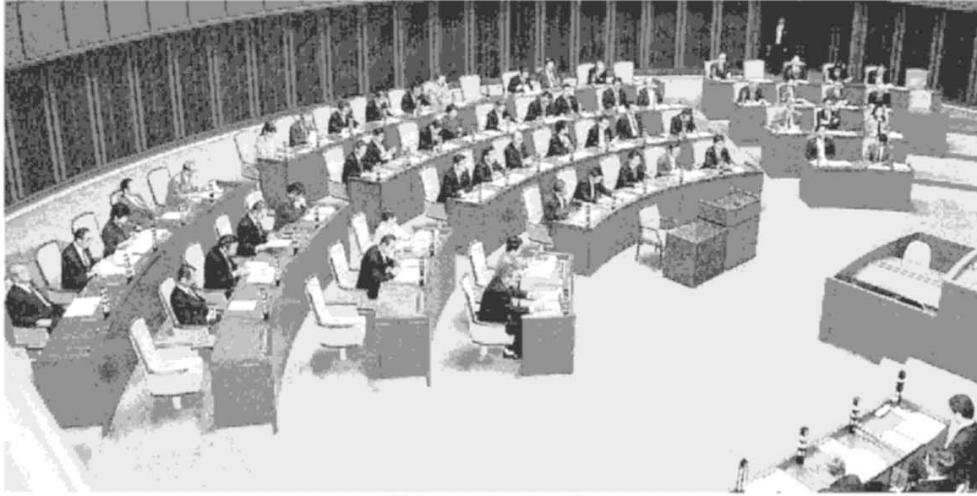


仮設住宅の防寒工事。災害公営住宅の完成を待つ入居者も多い。平成23年12月21日、石巻市

被災市町が平成27年度までに計1万2000戸の整備を計画している災害公営住宅。議員は整備手法や県が整備する戸数を問う、「仮設住宅だけでは2万2000戸が必要だった。入居者の高齢化や社会経済状況、各自自治体の申請戸数などを勘案すると、1万5000戸は必要ではないか」と主張した。

「県として5000戸程度の建設支援を行い、うち1000戸程度を県営住宅とすること」を検討している。市町自ら建設するほか、民間事業者などからの買取りなどにより、今後増やされることを考えている。必要

手法も活用して整備を進めると答えた。土部部長は、県の試算で約1万3000戸とされているが、市町が進めている被災者への意向調査などから、民間事業者の意向調査などにより、今後増やされることを考えている。必要



11月定例会本会議

### 「県が主導し対策を」

#### 放射能・健康調査、除染

放射線による県民への影響を調べる健康調査について、議員は「丸森町の一部地域での限定的な実施で、県民の不安を取り除いてはならない」と訴えた。保健福祉部長は「健康調査は必要だが、丸森町は有識者会議の『健康調査は必要ない』とする見解を受け、丸森町は健康調査を実施しない」と答えた。

「検査結果も踏まえ、今後の健康調査について、丸森町の一部地域での限定的な実施で、県民の不安を取り除いてはならない」と訴えた。保健福祉部長は「健康調査は必要だが、丸森町は有識者会議の『健康調査は必要ない』とする見解を受け、丸森町は健康調査を実施しない」と答えた。

### 「保管場所選定早く」

#### 汚染稲わら問題

福島第一原発事故による放射能汚染稲わら問題について、議員は「保管場所の選定を早く進めたい」と訴えた。環境生活部長は「汚染稲わら問題については、県として、指定された市町村が除染計画を策定することによって進めたい」と答えた。

「保管場所の選定を早く進めたい」と訴えた。環境生活部長は「汚染稲わら問題については、県として、指定された市町村が除染計画を策定することによって進めたい」と答えた。

### 「合意形成なく拙速」

#### TPP交渉参加協議入り表明

政府が交渉参加に向けてTPP交渉参加協議入り表明した。議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

### 復興交付金の活用検討

#### 仙石線復旧

一部区間で再開の見通しが立っていないJR仙石線。議員は「仙石線が復旧すれば、被災市町の人口減少が止まり、復興事業の進捗も進む」と訴えた。

議員は「仙石線が復旧すれば、被災市町の人口減少が止まり、復興事業の進捗も進む」と訴えた。

### 震災時の対応を調査

#### 学校の防災教育

「自然災害に対する危険を認識し、適切な対応を講ずることが重要」と訴えた。議員は「震災時の対応を調査し、学校の防災教育を進めたい」と訴えた。

議員は「震災時の対応を調査し、学校の防災教育を進めたい」と訴えた。

### 漁港集約 漁業者の理解前提

#### 開催 変更し構成

このうち、環境生活部長は「漁業者と意見交換し、お互いの理解が得られた」と報じた。議員は「漁業者の理解が前提」と訴えた。

議員は「漁業者の理解が前提」と訴えた。

### 若林署新設用地

#### 来年度に購入へ

警察本部は「若林署の新設用地を来年度に購入する」と発表した。議員は「若林署の新設用地を来年度に購入する」と訴えた。

議員は「若林署の新設用地を来年度に購入する」と訴えた。

### 大震災復興・復興対策調査特別委員会

#### 議員全員

- 総務企画委員会 定数11人
  - 長谷川洋一(自民) 堀内 周光(みんなの党)
  - 吉川 寛康(21世紀) 石川 利一(自民)
  - 齋藤 正美(復興の会) 石川光次郎(自民)
  - 藤原のりすけ(改革みやぎ) 中山 耕一(自民)
  - 菅間 進(改革みやぎ) 安藤 俊威(自民) 千葉 達(自民)
- 環境生活農林水産委員会 定数11人
  - 中島 源陽(自民) 岩淵 義教(社民) 池田 憲彦(自民)
  - 村上 智行(自民) 横田 有史(共産) 島山 和純(自民)
  - 内海 太(改革みやぎ) 庄子 賢一(公明) 中沢 幸男(自民)
  - 太田 穂郎(改革みやぎ) 川嶋 保美(自民)
- 保健福祉委員会 定数9人
  - 只野九十九(自民) 本多祐一朗(社民) 佐々木征治(自民)
  - 細川 雄一(自民) 天下みゆき(共産) 仁田 和廣(自民)
  - 石橋 信勝(公明) ゆさみゆき(改革みやぎ) 今野 隆吉(自民)
- 経済工商観光委員会 定数10人
  - 菊地 恵一(自民) 本木 忠一(自民) 坂下やすこ(改革みやぎ)
  - 長谷川 敦(自民) 三浦 一敏(共産) 渡辺 和喜(自民)
  - 藤倉 知格(自民) 佐藤 詔雄(社民)
  - 小野 隆(自民) 菅原 実(改革みやぎ)
- 建設企業委員会 定数9人
  - 伊藤 和博(公明) 境 恒春(みんなの党) 瀧美 巖(自民)
  - 佐々木幸士(自民) 中村 功(自民)
  - 坂下 賢(改革みやぎ) 佐藤 光樹(自民)
  - 渡辺 忠悦(みずの里) 皆川章太郎(自民)
- 文教警察委員会 定数9人
  - 寺澤 正志(自民) 岸田 清実(社民) 外崎 浩子(自民)
  - 高橋 伸二(自民) 遠藤いく子(共産) 安部 孝(自民)
  - 小野寺初正(公明) すとどう 哲(改革みやぎ) 相沢 光哉(自民)

### 常任委員会

#### 議事録

- 総務企画委員会 定数11人
  - 長谷川洋一(自民) 堀内 周光(みんなの党)
  - 吉川 寛康(21世紀) 石川 利一(自民)
  - 齋藤 正美(復興の会) 石川光次郎(自民)
  - 藤原のりすけ(改革みやぎ) 中山 耕一(自民)
  - 菅間 進(改革みやぎ) 安藤 俊威(自民) 千葉 達(自民)
- 環境生活農林水産委員会 定数11人
  - 中島 源陽(自民) 岩淵 義教(社民) 池田 憲彦(自民)
  - 村上 智行(自民) 横田 有史(共産) 島山 和純(自民)
  - 内海 太(改革みやぎ) 庄子 賢一(公明) 中沢 幸男(自民)
  - 太田 穂郎(改革みやぎ) 川嶋 保美(自民)
- 保健福祉委員会 定数9人
  - 只野九十九(自民) 本多祐一朗(社民) 佐々木征治(自民)
  - 細川 雄一(自民) 天下みゆき(共産) 仁田 和廣(自民)
  - 石橋 信勝(公明) ゆさみゆき(改革みやぎ) 今野 隆吉(自民)
- 経済工商観光委員会 定数10人
  - 菊地 恵一(自民) 本木 忠一(自民) 坂下やすこ(改革みやぎ)
  - 長谷川 敦(自民) 三浦 一敏(共産) 渡辺 和喜(自民)
  - 藤倉 知格(自民) 佐藤 詔雄(社民)
  - 小野 隆(自民) 菅原 実(改革みやぎ)
- 建設企業委員会 定数9人
  - 伊藤 和博(公明) 境 恒春(みんなの党) 瀧美 巖(自民)
  - 佐々木幸士(自民) 中村 功(自民)
  - 坂下 賢(改革みやぎ) 佐藤 光樹(自民)
  - 渡辺 忠悦(みずの里) 皆川章太郎(自民)
- 文教警察委員会 定数9人
  - 寺澤 正志(自民) 岸田 清実(社民) 外崎 浩子(自民)
  - 高橋 伸二(自民) 遠藤いく子(共産) 安部 孝(自民)
  - 小野寺初正(公明) すとどう 哲(改革みやぎ) 相沢 光哉(自民)

### ◆ラウンジコンサート◆

県議会では、定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由です。ぜひご来場下さい。

- 発議<1件>
  - 県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- 可決した意見書<8件>
  - 東日本大震災被災者の保険医療機関における一部負担金免除の期間延長を求める意見書
  - 新たな課題に対応した持続可能な介護保険制度の確立に向けた制度設計を求める意見書
  - 「障害者総合福祉法(仮称)」の早期制定を求める意見書
  - 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
  - 環太平洋戦略的経済連携(TPP)協定交渉参加に抗議し反対する意見書
  - 原子力発電所の警備に関する意見書
  - サイバー攻撃に対する情報保全対策に関する意見書
  - 緊急事態に関する意見書
- 可決・承認・同意した知事提出議案<64件>
  - 平成23年度宮城県一般会計補正予算案など
- 採択した請願<2件>
  - 私立高等学校等への助成強化に関することについて
  - 私学助成増額について

新議長、副議長あいさつ  
平成23年第34回宮城県議会定例会におきまして、第37代宮城県議長に就任された中村功議長、第34代副議長に就任された佐々木征治副議長が、被災地域や県民生活の再生に向けてより具体的な調査検討を行うため、新たに5つの専門部会を設けた。大震災復興・復興対策調査特別委員会、環境生活農林水産委員会、保健福祉委員会、経済工商観光委員会、建設企業委員会を設け、復興事業の進捗を調査する。

「議会一丸立ち向かう」  
宮城県議会は震災直後に特別委員会を立ち上げ、活動を行って参りましたが、被災地域や県民生活の再生に向けてより具体的な調査検討を行うため、新たに5つの専門部会を設けた。大震災復興・復興対策調査特別委員会、環境生活農林水産委員会、保健福祉委員会、経済工商観光委員会、建設企業委員会を設け、復興事業の進捗を調査する。

「合意形成なく拙速」  
政府が交渉参加に向けてTPP交渉参加協議入り表明した。議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

議員は「合意形成がなされていないままの拙速な表明は、被災市町に大きな影響を及ぼす」と訴えた。

県議会からのお知らせ  
本会議、各委員会は手続きの上、自由に傍聴できます。お問い合わせ先 宮城県議会事務局総務課 TEL022(211)3571